

平成 21 年第 9 回（12 月）出雲崎町議会定例会

～ 会期日程 ～

【会期 5 日間】

期 日	曜日	時 間	会 議 内 容
12 月 7 日	月	9 : 30	本会議 第 1 日目（招集日）
		本会議終了後	総務文教常任委員会
		本会議終了後	社会産業常任委員会
8 日	火	9 : 30	本会議 第 2 日目（一般質問）
		本会議終了後	予算審査特別委員会
9 日	水		休会（議案調査）
10 日	木		休会（議案調査）
11 日	金	9 : 30	本会議 第 3 日目（最終日）

～ 議決の内容 ～

◎町長提出議案

議案番号	件名	議決年月日	議決の結果
議案第 81 号	長岡地域広域行政組合規約の変更について	21.12.11	原案可決
議案第 82 号	長岡地域広域行政組合の解散について	21.12.11	原案可決
議案第 83 号	長岡地域広域行政組合の解散に伴う財産処分について	21.12.11	原案可決
議案第 84 号	公共施設の相互利用に関する協定書の廃止について	21.12.11	原案可決
議案第 85 号	長岡市との間における定住自立圏形成協定の締結について	21.12.11	原案可決
議案第 86 号	指定管理者の指定について	21.12.11	原案可決
議案第 87 号	平成 21 年度出雲崎町一般会計補正予算（第 7 号）について	21.12.11	原案可決
議案第 88 号	平成 21 年度出雲崎町国民健康保険事業特別会計補正予算（第 2 号）について	21.12.11	原案可決
議案第 89 号	平成 21 年度出雲崎町介護保険事業特別会計補正予算（第 2 号）について	21.12.11	原案可決
議案第 90 号	平成 21 年度出雲崎町簡易水道事業特別会計補正予算（第 2 号）について	21.12.11	原案可決
議案第 91 号	平成 21 年度出雲崎町下水道事業特別会計補正予算（第 3 号）について	21.12.11	原案可決
議案第 92 号	人権擁護委員の候補者の推薦について	21.12.7	原案適任
議案第 93 号	平成 21 年度出雲崎町一般会計補正予算（第 8 号）について	21.12.11	原案可決

◎議員提出議案

議案番号	件名	議決年月日	議決の結果
発議第 7 号	核兵器の廃絶と恒久平和を求める意見書について	21.12.11	原案可決
発議第 8 号	社会的セーフティネットの拡充に関する意見書について	21.12.11	原案可決

◎陳情

議 案 番 号	件 名	議決年月日	議決の結果
陳情第 6 号	核兵器の廃絶と恒久平和を求める意見書提出 に関する陳情書について	21.12.11	採 択
陳情第 7 号	社会的セーフティネットの拡充に関する陳情 書について	21.12.11	採 択

一 般 質 問

平成 21 年 12 月 8 日（火）午前 9 時 30 分開議

順	質 問 者	質 問 事 項 及 び 趣 旨
1	 宮下孝幸 議員 (一問一答)	○観光発信と文化財指定について 徳川幕府の御領地、つまり天領であった当町には、代官所跡地・代官稲荷、あるいは処刑場跡地と、歴史的資産として多くの残された箇所が現存いたします。 新たなもので観光を考える事も方法ではありますが、これら現存する跡地などの再生活用は観光の基礎であり、原点と考えます。 いまだ未整備のまま現存する、これらの跡地を必要に応じ文化財指定などの手を尽くし、一定の整備を進め、観光の拠点として考える事は、歴史的遺産再生の観点から大変重要であり、当町が目指す観光立町の源泉となるものと確信をいたしますが、当局の見解を伺います。
2	 田中 元 議員 (一問一答)	○エコパークの跡地の活用と今後について ① 跡地の活用は エコパークいずもぎきの跡地については、平成 23 年度に交付金の配分も終わり、今後活用については、県との協議に入る時期に来ていると思われます。町当局はどのような考え方を持って対応されているのかお聞きします。 ② 今後について 公共管理の元で運用されている産廃最終処分場は、県内では当町だけです。県では努力されていますが、現在他のところでの見通しはありません。県から要請があった時の町の対応についてお聞きします。

3	 中野勝正 議員 (一問一答)	○柳津町との交流について 当町と福島県の柳津町と姉妹都市提携を結んで、22 年経ちました。 ① 町の職員間の交流について ② 民間同士の交流について ○新年度予算について 11 月 16 日町長と議会と意見交換をやり、各議員から色々な意見がありました。 国や県の動向があり、現時点大変だと思いますが、再度町長の考えを伺います。
4	 仙海直樹 議員 (一問一答)	○今後の町づくりについて 先の衆議院選挙で政権交代がなされ、今後地方行政にも少なからず影響が出てくると思われます。 少子化による人口減少や定住問題、景気の低迷など自治体を取り巻く情勢は大きく変化しています。 この様な時代だからこそ、地域住民と、町当局の一致団結は不可欠です。 そこで、20 代～40 代の若い世代を中心とした町づくり、町おこし検討委員会の様な物は、立ち上げることはできないでしょうか。 町長のお考えをお伺いします。

5	 三輪 正 議員 (一問一答)	○防災無線の改善について 屋外スピーカーの難聴地域の解消を。 各施設、各事業所での防災無線の設置状況と未設置場所への設置の促進を。 ○携帯電話の通話地域の拡大を地域により、会社によっては 「通話出来ない」「よく聞こえない」状態が続いる。 現状を調査し、携帯各社へ改善の働き掛けをお願いしたい。
---	---	--